

令和2年7月26日

一般社団法人広島県病院薬剤師会会長様

広島県健康福祉局長

〒730-8511 広島市中区基町10-52  
薬務課

肝炎ウイルス検査の受検促進に向けた取組の周知について（依頼）

本県における肝炎対策の推進については、日頃から御協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。

さて、本県では、肝炎撲滅に向けて肝炎ウイルス陽性者を早期に発見するための肝炎ウイルス検査の受検を一層促進するため、検査の必要性を周知するための医療機関等で利用可能な啓発資材（ポスター、チラシ）を作成しました。

病院薬剤師の皆様におかれましては、これまでも薬物治療における薬剤管理指導業務やがん化学療法等を通じて、ウイルス性肝炎対策に貢献していただいているところですが、ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療の重要性を再認識していただくとともに、医療従事者や患者本人への本取組に関する啓発に御協力いただきたいと思います。

ついては、本取組の趣旨を御理解いただくとともに、別紙「肝炎ウイルス検査の受検促進に係る資材提供について」を貴会会報に掲載し、本啓発資材を広く活用していただくよう、貴会会員への周知をお願いします。

なお、一般社団法人広島県医師会、一般社団法人広島県病院協会及び公益社団法人広島県薬剤師会には、別途依頼しています。

担当 肝炎対策グループ

電話 082-513-3078（ダイヤルイン）

FAX 082-211-3006

E-mail fuyakumu@pref.hiroshima.lg.jp

（担当者 児玉，藤井，渥美）

別紙

肝炎ウイルス検査の受検促進に係る資材提供について  
(ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療を目指した取組について)

令和3年8月10日  
広島県健康福祉局長

本県における肝炎対策の推進については、日頃から御協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。

さて、B型、C型ウイルス性肝炎については、感染しても自覚症状のないことが多く、また感染経路が不明な場合も多いことから、誰もが一生に一度は肝炎ウイルス検査を受ける必要があるとされています。

しかしながら、県内には肝炎ウイルスへの感染を認識していない持続感染者(キャリア)が16,400人(平成27年時点)存在していると推計されており、県内の肝炎ウイルス検査の受検率は6割程度と推計されていること、またウイルス性肝炎は自覚症状のないままに慢性肝炎から肝硬変や肝がんに行進しうる疾患であることから、ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療が重要であると考えています。

そこでこの度、肝炎撲滅に向けてキャリアを早期に発見するため、肝炎ウイルス検査の受検を一層促進することを目的とした啓発資材(ポスター、チラシ)を作成し、広く配付することとしました。

医療機関等におかれましては、本資材をぜひ御活用いただき、県民への肝炎ウイルス検査の必要性の周知に御協力くださるよう、よろしく願いいたします。本資材の配付を希望される場合は、別紙利用申込書に御記入の上、郵送、FAX又はメールでお申し込みください。

肝炎ウイルス検査受検勧奨に係る啓発資材の利用申込書

年 月 日

医療機関名		
担当者氏名		
送付先住所	〒	
電話番号		
希望部数※	A3版（ポスター） 枚	A4版（チラシ） 枚
備考		

※申し込み状況により御希望に添えない場合があります。

ポスター等の配付は9月以降を予定しています。また、県が広島大学等と締結した連携協定に基づいて行う取組のため、発送元が県と異なる場合があります。

申込先：広島県健康福祉局薬務課 肝炎対策グループ  
〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52  
T E L : 082-513-3078  
F A X : 082-211-3006  
e-mail : fuyakumu@pref.hiroshima.lg.jp